

あゆち

特集：愛知が舞台

愛知県を舞台にした作品は多数存在します。
今回は、その中でも印象に残る作品たちを形式を問わずご紹介します。



作品リスト

尾張・三河が舞台となった小説、尾張・三河で撮影された映画・ドラマ、尾張・三河ゆかりの作家など、様々な当地エンタメ作品を選び掲載しました。

No.は、4・5ページ掲載の地図と連動しています。👉は6・7ページに紹介文があります。

✍️の作家は、5ページに紹介文があります。

尾張

No.	記号	ジャンル	作品名など	場所
①	☆	絵本	『おぼけのマルとモーニングのあとで』 なかいけい/え, けーたろう/ぶん	一宮市
②	★	小説	『煙』 松岡圭祐/著	稲沢市
③	★◆	小説・映画	『清須会議』 三谷幸喜/著	清須市
④	★	文学賞	津島短編小説コンテスト	津島市
⑤	✍️◆	作家・ショートムービー	「死体蠟燭」「安死術」小酒井不木/原作	蟹江町 
⑥	✍️	作家	青山美智子 代表作『お探し物は図書室で』など	瀬戸市
⑦	🏰	テーマパーク	ジブリパーク	長久手市 
⑧	★◆	小説・映画	『グッモーエビアン!』 吉川トリコ/著	名古屋市
⑨	★	小説	『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』 村上春樹/著	名古屋市 
⑩	★	小説	『女子大小路の名探偵』 秦建日子/著	名古屋市
⑪	★	小説	『名古屋駅西喫茶ユトリロ』 太田忠司/著	名古屋市
⑫	✍️★	作家・小説	『冬の派閥』 城山三郎/著	名古屋市
⑬	★	小説	『碧と花電車の街』 麻宮ゆり子/著	名古屋市
⑭	☆	絵本	『名古屋うみやあもんのうた』 長谷川義史/著	名古屋市 
⑮	○◆	ノンフィクション・映画	『学年じりのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』 坪田信貴/著	名古屋市
⑯	○	ノンフィクション	『レクサス星が丘の奇跡 No.1トヨタのおもてなし』 志賀内泰弘/著	名古屋市 
⑰	✍️○	作家・随筆	『貼雑年譜（はりまぜねんぶ）』 江戸川乱歩/著	名古屋市 
⑱	★	小説	『土の中の子供』 中村文則/著	東海市
⑲	★	小説	『天涯の海 酢屋三代の物語』 車浮代/著	半田市 
⑳	✍️☆	作家・童話	『ごんぎつね』 新美南吉/著	半田市
㉑	◇	ドラマ	『黄色い煉瓦』	常滑市
㉒	□	長編アニメ	『泣きたい私は猫をかぶる』	常滑市
㉓	★□	小説・アニメ	『すべてがFになる』 森博嗣/著	日間賀島

三河

No.	記号	ジャンル	作品名など	場所
②4	◆	映画	『タカハマ物語』	高浜市
②5	★	小説	『旅人 われは』 桑原恭子／著	碧南市 
②6	✍	作家	尾崎士郎	西尾市
②7	★	小説	『白鳥とコウモリ』 東野圭吾／著	安城市、岡崎市
②8	◆	映画	『星めぐりの町』	豊田市
②9	□	アニメ	『シキザクラ』	豊田市
③0	★	小説	『霸王の家』 司馬遼太郎／著	岡崎市 
③1	★	小説	『泣けない魚たち』 阿部夏丸／著	岡崎市 
③2	◇	ドラマ	連続テレビ小説『純情きらり』	岡崎市
③3	◇	ドラマ	大河ドラマ『どうする家康』	岡崎市
③4	●◆	マンガ・映画	『ゾッキ』	蒲郡市
③5	★	小説	『ええじゃないか17歳のチャレンジ』 宗田理／著	豊橋市 
③6	★	小説	『蒼い描点』 松本清張／著	豊橋市、犬山市 
③7	●	マンガ	『だもんで豊橋が好きって言っとるじゃん!』	豊橋市
③8	◇	ドラマ	連続テレビ小説『エール』	豊橋市
③9	◇	ロケ地	連続ドラマ『陸王』ほか	豊橋市
④0	✍	作家	杉浦明平	田原市
④1	★◆	小説・映画	『あん』 ドリアン助川／著	新城市 
④2	★	小説	『花舞う里』 古内一絵／著	東栄町 

凡例

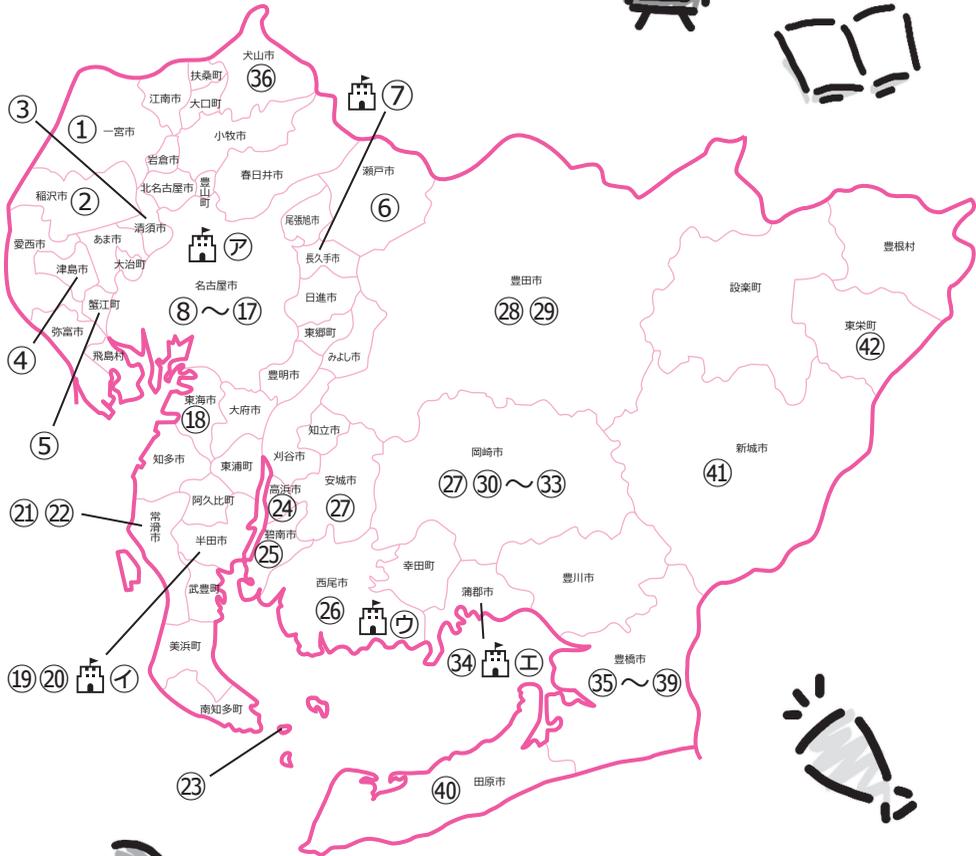
- | | | |
|------|--------------|--------------|
| ★小説 | ☆絵本・童話 | ○随筆・ノンフィクション |
| ●マンガ | ◆映画・ショートムービー | ◇ドラマ |
| □アニメ | ♣文学館・テーマパーク | ✍愛知出身の作家 |



スペースの都合上、ここには掲載できませんでしたが、名古屋が舞台の小説は、まだまだあります。詳しくは、名古屋市図書館発行の「小説で読む名古屋（2021年2月改訂）」をCHECK！名古屋市図書館のホームページで公開されています。



愛知が舞台マップ



愛知県ゆかりの作家

愛知県図書館のホームページ内の愛知県関係地域資料ポータルページの、『愛知の生んだ作家 愛知県ゆかりの作家リスト』（2021年2月改訂）を公開しています。明治以降に生まれた作家を掲載しています。こちらもぜひご覧ください。



愛知県ゆかりの作家の中から本冊子に登場した7名のプロフィールを簡単にご紹介!

⑤ ① ◆ 小酒井不木

(1890-1929)

愛知県海東郡新蟹江村(現:海部郡蟹江町)生まれ。医学者。医学知識をもとにした探偵小説、随筆、評論、海外の探偵小説の翻訳など、日本の探偵小説の勃興期に大きな足跡を残した。江戸川乱歩とのつながりも深い。



⑥ ① 青山美智子

(1970-)

埼玉県生まれ、千葉県育ち。愛知県瀬戸市に、中学1年生で引っ越してきて以来、大学卒業まで過ごした愛知県”出身”の作家。第1回ショートストーリーなごや(2007年)で「街灯りの向こうに」が佳作に入选した。



⑦ ① ★ 城山三郎

(1927-2007)

愛知県名古屋市中央区生まれ。日本における「経済小説」という新たな文学ジャンルを開拓するとともに、歴史小説の分野でも多くの作品を残す。本名は杉浦英一。ペンネーム城山三郎は、名古屋市内の城山八幡宮に由来している。



⑧ ① ○ 江戸川乱歩

(1894-1965)

三重県名賀郡名張町(現:名張市)生まれ。3歳で名古屋市に移住し、旧制第五中学校(現:愛知県立瑞陵高等学校)を卒業するまで名古屋で過ごした。2020年には、名古屋市内の旧居地に記念碑が建てられた。



⑨ ① ☆ 新美南吉

(1913-1943)

愛知県半田市出身の童話作家。29歳没。安城市で教員として働いた。『ごんぎつね』は、長年多くの小学校国語の教科書に掲載されている。2021年夏、中国で小学校の推薦図書に選ばれたことが新聞記事になった。



⑩ ① 尾崎士郎

(1898-1964)

愛知県幡豆郡横須賀村(現:西尾市吉良町)生まれ。昭和8年から「人生劇場」の連載を開始、その「青春篇」がベストセラーとなる。戦時下を花形作家として過ごし、そのため戦後は戦争協力を問われ公職追放されたが、昭和24年に復帰。



⑪ ① 杉浦明平

(1913-2001)

愛知県渥美郡福江町(現:田原市)生まれ。小説家、評論家、イタリア文学者。終戦後は郷里に定住し、農業のかたわら作家・評論活動を続ける。また、地元の青年たちと様々なグループを結成し交流を深め、町会議員も務めた。





←死体蠟燭

安死術→



こちらのQRコードより、
YouTube でご覧いただけます

⑤小酒井不木（こさかい ふぼく）原作ショートムービー

◆「死体蠟燭」（2019）、「安死術」（2020）（蟹江町）

小酒井不木は蟹江町出身の探偵小説家です。

蟹江町がシティプロモーションの一環として、時代の波に埋もれつつある不木の作品群にスポットを当て、映像というかたちで現代に蘇らせようと、映画監督・堤幸彦氏の協力によりショートムービーを制作しました。

⑦ジブリパーク〈長久手市〉

愛・地球博記念公園に、ジブリの作品を活用し、多くの方々に見て楽しんでいただけるジブリパークが誕生します！①青春の丘エリア、②ジブリの大倉庫エリア、③もののけの里エリア、④魔女の谷エリア、⑤どんどこ森エリアの5つのエリアからなり、2022年秋より順次開業予定です。



⑭『名古屋うみやあもんのうた』長谷川義史／著

☆佼成出版社 2015

「ゆかいな牧場」のメロディにのせて名古屋の名物を紹介する歌遊び絵本。うみやあもん以外にも、名古屋人にはおなじみの場所、キャラクターがたくさん登場する楽しい絵本です。

⑮『貼雑年譜』（はりませねんぷ）

○江戸川乱歩／著 講談社 1989

乱歩の自伝的資料を集成したものであり、名古屋における軌跡の基本文献。乱歩の人間性が垣間見える、大変興味深い資料です。



⑰『天涯の海 酔屋三代の物語』車浮代／著

★潮出版社 2020〈半田市〉

ミツカングループ創業者である中野又左衛門は、酒造りの傍ら酒粕による粕酢造りを思いつく。それは二代、三代へと受け継がれ…。粕酢に生涯をかけた人々の歴史長編小説。



⑨『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』村上春樹／著

★文藝春秋 2013

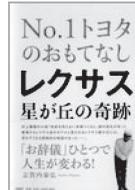
多崎つくるとは、名古屋での高校時代、男女四人の親友と完璧な調和を成す関係を結んでいたが、大学時代のある日突然、四人から絶縁を申し渡された。16年の月日を経て、新しい恋人とともにあのときなにか起きたのか探り始める。



⑩『レクサス星が丘の奇跡 No.1トヨタのおもてなし』志賀内泰弘／著

○PHP研究所 2014

『色彩を持たない多崎つくると』に登場する「レクサスのショールーム」は、レクサス星が丘のことではないかと言われています。ディーラーのロコミサイトで最高ランクの5つ星の評価を受ける「キング・オブ・レクサス」のおもてなしは本当にすごい！



西三河



㊤『旅人 われは』桑原恭子／著
★中日新聞本社 1985〈碧南市〉
美術工芸界に多くの足跡を残した藤井達吉の伝記小説。
碧南市立藤井達吉現代美術館が2008年に開館。



㊦『霸王の家』司馬遼太郎／著
★新潮社 1978〈岡崎市〉
徳川家康が主人公の数ある歴史小説の中でも人物洞察と史観において評価の高い作品。



㊧『泣けない魚たち』阿部夏丸／著
★ブロンズ新社 1995〈岡崎市〉
矢作川を舞台に、川と魚と少年が夏を駆けまわると物語。

愛知が舞台の
アートと写真

- 図録『アイチアートクロニクル』
愛知県美術館 2019
- 『愛知洋画壇物語 (1)(2)』
中山真一／著 風媒社 2011-2016
- 写真集『目で見る豊田・加茂の100年』
郷土出版社 1992 (『目で見る～100年』シリーズは、県内各地の巻あり)
- 写真集『東三河今昔写真集』 樹林舎 2005 (『～今昔写真集』シリーズは、県内各地域の巻あり)

愛知の文学館 

愛知県には、個性的な文学館がいくつも存在します。

- ㊦文化のみち二葉館〈名古屋市〉
経済小説の先駆者である城山三郎の旧蔵書を始め、郷土ゆかりの文学資料を保存・展示。
- ㊧新美南吉記念館〈半田市〉
新美南吉の生涯を紹介し、その童話の世界を再現。
- ㊨尾崎士郎記念館〈西尾市〉
小説『人生劇場』で一世を風靡した尾崎士郎の文学館。
- ㊩海辺の文学記念館〈蒲郡市〉
竹島を望む老舗旅館「常磐館」を愛した文豪達を紹介すべくその跡地に立つ。

東三河



㊫『ええじゃないか 17歳のチャレンジ』宗田理／著
★角川書店 2016〈豊橋市〉
謎のお札が届いたことをきっかけに「ええじゃないか祭り」を企てる高校生の青春ミステリー。



㊬『あん』ドリアン助川／著
★◆ポプラ社 2013〈新城市〉
主人公徳江の故郷の桜が印象的な場面で登場。小説は桜淵、映画は四谷千枚田の桜。

㊭『蒼い描点』松本清張／著
★新潮文庫 2002〈豊橋市〉
編集者の典子が調査のため犬山と豊橋市内を訪れる。
1958年発表の女性トラベルミステリーの嚆矢。



㊮『花舞う里』古内一絵／著
★講談社 2016〈東栄町〉
心に深い傷を負う主人公潤が奥三河の「花祭り」に関わることで癒されていく、再生の物語。



電子書籍はじめました。



愛知県図書館では、2021年1月から、新型コロナウイルス感染症防止の「新しい生活様式」に対応したサービスとして、オンラインで利用できる電子書籍サービスを開始しました。愛知県図書館に利用登録をし、パスワードを取得すれば、いつでも、どこでも、5,000冊以上の図書を無料で読むことができます。

「ものづくり文化資料」、「健康・医療資料」を中心に調査研究に役立つ専門書や辞書など、県図書館ならではのラインナップです。

●こんな使い方も!

書籍内全文検索（書籍内の全文から、単語を拾って検索する機能）ができるので、調査研究、仕事や生活など多くの場面で利用でき、小さなデータベースとしてお使いいただけます。KinoDenが提供する無料電子書籍専用アプリ（bREADER Cloud）を利用すると、書籍名の登録や、しおりやマーカーなどを付けることも可能です。



アクセスはマイライブラリから! ↑

あゆち 愛知県図書館報 第22号 2022年3月発行

編集・発行 愛知県図書館

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3

電話 (052) 212-2323 (代表) / (052) 212-3200 (調査相談)

Webサイト <https://www.aichi-pref-library.jp>

携帯サイト <https://websv.aichi-pref-library.jp/k/index.html>

- 開館時間 火～金 10時～20時
(児童図書室・視覚障害者資料室は10時～18時)
土・日・祝日 10時～18時
- 休館日 月、毎月第2木（その日が祝日（振替休日・国民の休日）に当たるときは開館、次の平日に休館）、
年末年始（12月28日～1月4日）、館内整理のための休館



ISSN 1880-5663